

インフラ長寿命化計画（行動計画・個別施設計画）について

◆背景

平成24年12月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を受け、道路やトンネル、橋梁などインフラの老朽化が問題となった。他方、地方公共団体においては、公共施設の老朽化、改修・更新費用などの増大や地方財政の悪化に対応するため施設の総量を抑制(削減)、複合化、集約化を図ることや予防保全・長寿命化を推進することと予算の平準化を図る必要性に迫られていた。これらのことから、政府全体の取組として、国民生活や社会経済活動を支えるインフラ（国立大学は建物、ライフライン等）に関する維持管理等の方向性を示す基本的な計画である「インフラ長寿命化基本計画」が平成25年11月に政府により策定された。この基本計画には、国民の安全・安心を確保するための、中長期的な維持管理・更新等のメンテナンスサイクルの構築、また、そのために必要な財源の確保については、国や地方公共団体の厳しい財政状況下にあつて、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ること等を示している。

◆文部科学省の対応

- ・平成27年 3月 文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）策定
 - ・平成27年 3月 インフラ長寿命化計画（行動計画・個別施設計画）策定の依頼
 - ・令和 3年 3月 文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）改定
 - ・令和 4年12月 インフラ長寿命化計画（行動計画）更新の依頼
- ※行動計画とは、インフラ長寿命化計画を進めるための方針等を示したもの。
- ※個別施設計画とは、個々の施設の具体的な整備方針を示したもの。

◆本学の対応

- ・平成28年3月 千葉大学インフラ長寿命化計画（行動計画）策定
- ・平成29年3月 千葉大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）策定

◆計画の内容

【行動計画】

1. 目的
2. 長寿命化の考え方
3. 計画期間
4. 対象施設
5. 現状と課題
6. 中長期的なコストの見通し
7. 取組の方向性
8. フォローアップ計画

【個別施設計画】

1. 計画期間（行動計画に同じ）
2. 対象施設（ 〃 ）
3. 長寿命化の基本方針（ 〃 ）
4. 長寿命化の実施計画
 - ・予算の平準化
 - ・優先順位付と年次計画
5. 長寿命化計画の継続的運用方針

◆今後のスケジュール

- ・令和 5年3月28日 千葉大学インフラ長寿命化計画（行動計画）改定
- ・令和 5年3月28日 千葉大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）改定
- ・令和 5年3月末 文部科学省へ提出、
- ・令和 5年3月末 H Pにて学内及び学外へ公表

以上。